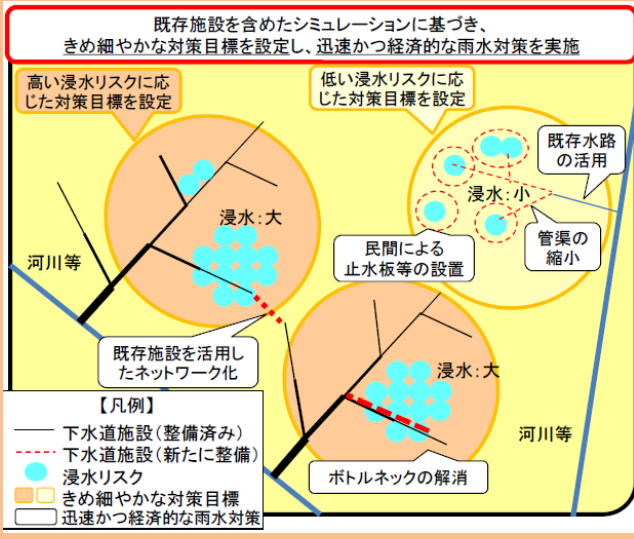


H28年度新規事業への取組

～安全・安心を守るための防災・減災、老朽化対策～

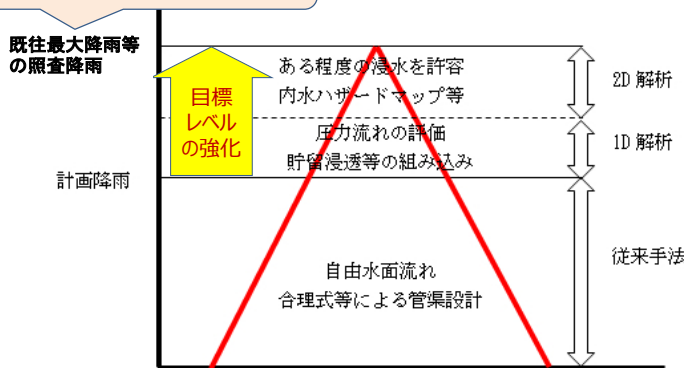
効率的雨水管理支援事業制度～雨に強いまちづくりの推進～

国が示している支援メニュー



方針1 雨の目標レベルを強化し、安全なまちづくりに貢献

照査降雨の設定：地域特性や降雨特性を考慮して設定



- ① 地下街の地区や浸水発生地域の目標レベルを強化
- ② 降雨特性（超過降雨）を反映した照査降雨の設定

方針2 浸水シミュレーションを活用して、段階的・効率的な運用・管理の提案（対策効果の見える化）

目標設定・方針

- ・超過降雨に対応
- ・水位等モニタリングの実施
- ・既存ストックを活用
- ・地下街等地区の特性を考慮

設計・評価手法

- ・シミュレーションによる評価
- ・計画降雨及び照査降雨の適用
- ・圧力状態の許容
- ・地表面の浸水深（リスク）を評価

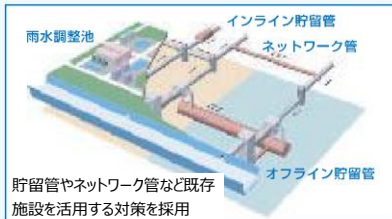
整備手法・対策効果

- ・ハード・ソフト対策
- ・貯留やネットワーク化によるリスク平準化
- ・段階的な施設設置効果を評価
- ・超過降雨に対する安全性を評価

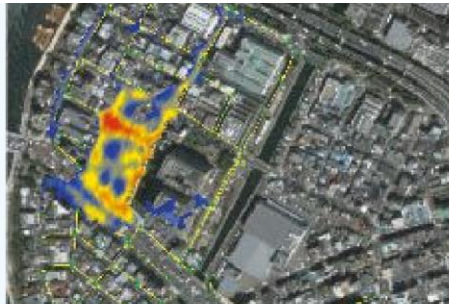
水位モニタリング等を実施し、的確なシミュレーションモデルの構築



- ・既存ストックの調査
- ・水位モニタリングの実施
- ・既往降雨等の調査



計画・照査降雨を用いてシミュレーションを実施し、浸水安全度を評価



- ・浸水被害の再現・浸水原因把握
- ・既存ストックの整備水準の把握
- ・内水ハザードマップの作成、公表

段階的な対策効果の把握や照査降雨による安全性検証の実施



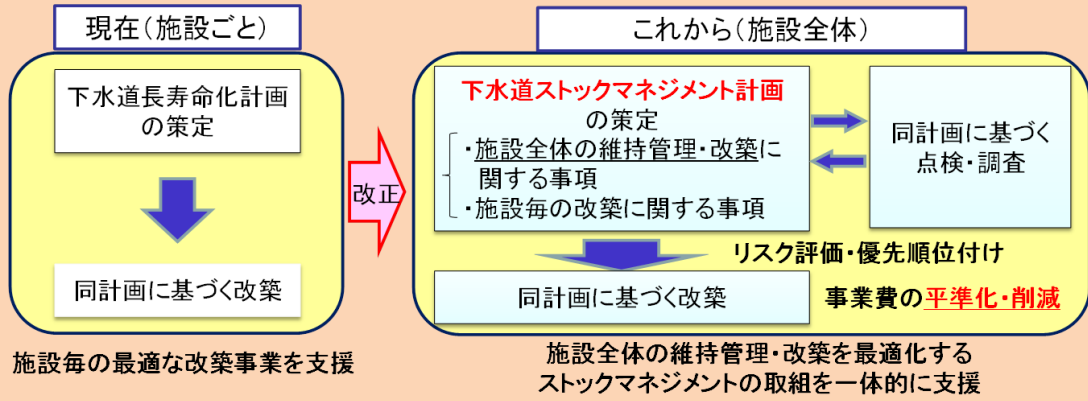
- ・対策効果・段階的発現効果を検証
- ・超過降雨に対する浸水安全度の把握
- ・関係者との連携・情報共有の推進

【用語解説】

照査降雨：地域で発生した超過降雨や想定される降雨
1D：管渠網の解析
2D：地表面の氾濫解析

下水道ストックマネジメント支援制度～効率的な施設管理の推進～

施設ごとの長寿命化計画 から 事業体全体のストックマネジメントへの転換 : 持続可能な事業実施の推進



施設毎の最適な改築事業を支援

施設全体の維持管理・改築を最適化する
ストックマネジメントの取組を一体的に支援

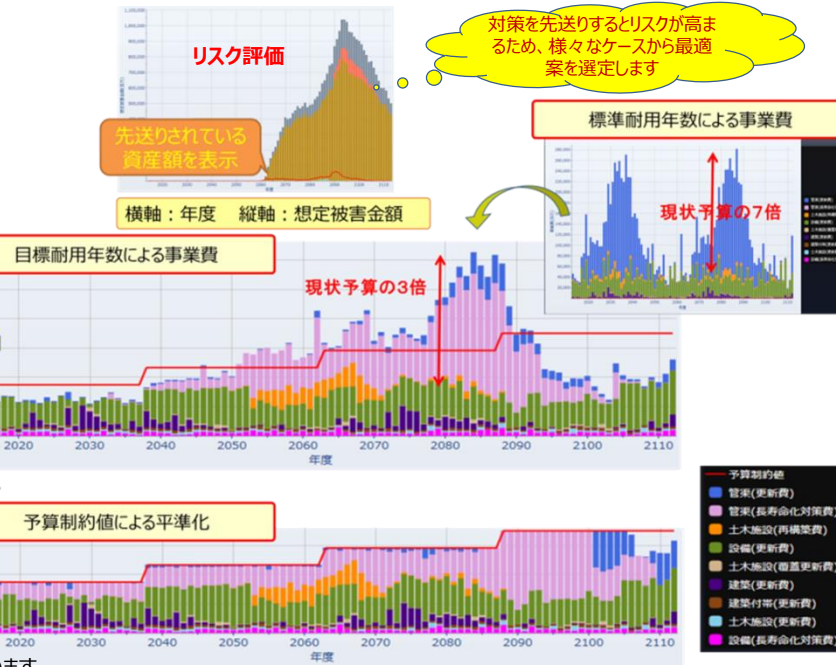
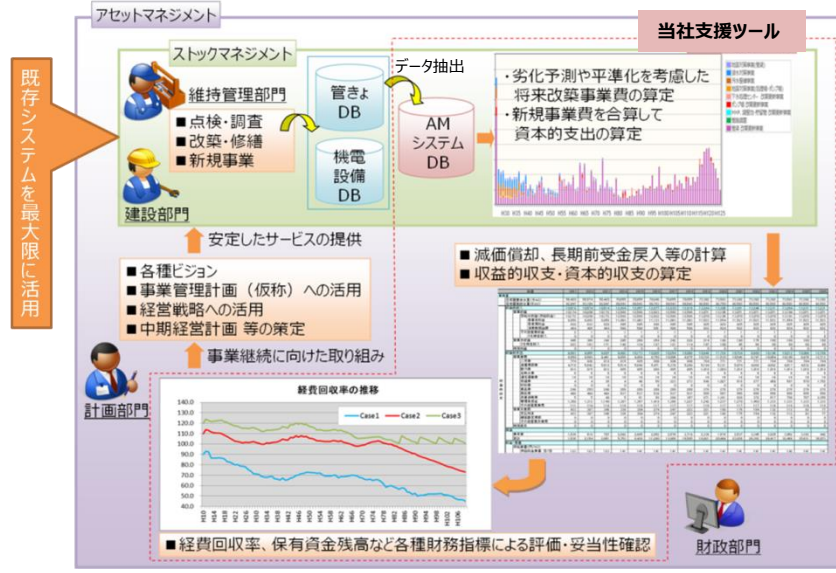
- 方針1 長期的な改築需要を策定
- 方針2 投資と財源の調整を実施 (計画的に予算や補助金確保するため平準化を実施)
- 方針3 「事業計画」や「経営戦略」に反映

- ①資産情報、改築・点検・修繕時期の把握
→ 情報をデータ化し一元管理
- すべての部署が参画し、職員が同じ管理単位で議論できる仕組みを構築
 - 現場のデータは、必要データを抽出・活用

- ②将来事業費の把握
→ 長期の見通しを立て、計画的な事業執行
- リスク評価を含めた優先順位付けと予算制約のバランスを検討
 - 中長期事業計画を策定し、全体の改築需要を把握

- ③経営状況の見える化
- 長期事業計画と財政収支計画の連動により、事業費と財政状況のバランスを検討
 - 直近5～10年の対策が必要な施設については、設計部署にデータ提供

地方公共団体の状況 (要望、情報の蓄積状況等) に応じて、多様な手法や成果を提案・提供いたします。



※日本水工設計では、AM支援ツール「AssetMan®」を保有しています

お問い合わせ先

日本水工設計株式会社

http://www.n-suiko.co.jp

本社/東京支社	〒104-0054	東京都中央区勝どき3丁目12番1号	TEL.03-3534-5511(代表)	FAX.03-3534-5510
東北支社	〒980-0811	仙台市青葉区一番町3丁目1番1号	TEL.022-263-8941(代表)	FAX.022-263-0744
名古屋支社	〒460-0008	名古屋市中区栄1丁目2番7号	TEL.052-211-5681(代表)	FAX.052-204-2106
大阪支社	〒542-0081	大阪市中央区南船場2丁目9番8号	TEL.06-6243-3131(代表)	FAX.06-6243-3081
広島支社	〒732-0824	広島市南区の場町1丁目3番6号	TEL.082-264-1160(代表)	FAX.082-264-5655
九州支社	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号	TEL.092-451-6528(代表)	FAX.092-472-1799